

## 令和4年度 東京都中学校数学教育研究会 総会報告

東京都中学校数学教育研究会は、5月14日(土)に、練馬区立開進第二中学校セミナーハウス(松山館)で、令和4年度の総会を開催しました。令和3年度の事業報告、決算・監査報告および、令和4年度の役員、事業計画、予算が承認され決定しました。

## 総会次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶・来賓紹介 (会長 小島 宏一郎)
3. 来賓代表挨拶
4. 議長選出
5. 議事
  - (1) 令和3年度 事業報告
  - (2) 令和3年度 決算・監査報告
  - (3) 令和4年度 会長・副会長 選出承認
  - (4) 会則の改正について
  - (5) 令和4年度 役員 選出承認
  - (6) 令和4年度 事業計画案審議
  - (7) 令和4年度 予算案審議
6. 新会長挨拶 (新会長 福沢 俊之)
7. 閉式の辞

総会後に埼玉大学教授 松寿 昭雄先生  
よりご講演をいただきました。(講演の要旨は本誌  
2ページに掲載)

## 令和4年度 事業計画

令和4年度の事業として、庶務部、会計部、研究部、調査部、広報部の各部は、会則第5条に従って、下記の事業を行います。

なお、平成23年度より、東京都の研究推進団体の認定に伴い、研究部各研究委員会は、活動の中で、東京都教育委員会指導主事と連携するなどして、「学習指導要領の改訂に伴う指導の改善」に向けた研究推進を図る。

## 1 運営に関する会・講演会の開催

日時: 令和4年5月14日(土) 14:00 ~ 16:45  
会場: 練馬区立開進第二中学校 セミナーハウス  
(松山館)

## 2 数学指導技術向上研修会の開催

日時: 令和4年8月19日(金) 13:30 ~ 17:00  
会場: 北区立王子桜中学校  
(東京都教職員研修センターとの連携研修)

- 3 第60回研究発表大会の開催  
日時: 令和5年2月18日(土) 13:30 ~ 16:55  
会場: 台東区立御徒町台東中学校(予定)
- 4 研究大会への参加  
令和4年10月28日(金)  
第77回関東甲信静数学教育研究(山梨)大会への  
参加協力  
[調査部が発表予定]
- 5 その他
  - (1) 上記の他、運営に関する会・理事会などで決定された事項について、本会の目的達成のために必要な事業を行う。
  - (2) 運営に関する会・講演会、役員会、理事会、研究発表会等の開催日程は、以下の通りとする。
    - ① 令和4年5月14日(土)  
役員会、理事会、運営に関する会・講演会
    - ② 令和4年7月15日(金) 役員会
    - ③ 令和4年8月19日(金)  
数学指導技術向上研修会
    - ④ 令和4年9月12日(月) 役員会
    - ⑤ 令和4年11月18日(金) 役員会
    - ⑥ 令和5年2月18日(土)  
第60回研究発表大会
    - ⑦ 令和5年3月10日(金) 役員会
    - ⑧ 令和5年4月 役員会(日程調整中)

□発行日	令和4年7月10日
□発行者	東京都中学校数学教育研究会
□会長	福沢 俊之 (台東区立御徒町台東中学校)
□編集責任者	広報部長 杉田 正穂 (練馬区立大泉学園中学校) 練馬区大泉学園町4-17-32 03-3925-4492

## 都中数研会報

編集 東京都中学校数学教育研究会

## 「中学校数学教育の向上の一助に」

東京都中学校数学教育研究会会長 福沢 俊之

## ○研究発表大会

毎年2月に実施している研究部各委員会の成果報告の場です。分科会形式で行い、意見交換の後に講師の方から指導助言をいただいている。また、数学教育の研究者の方をお招きしての講演会も実施しています。

## ○調査活動

毎年、都内の公立中学校の数学教員を対象に「数学教育推進にかかる実態調査」を行っています。経年変化を追っているもの、教育施策に関する各学校の取組状況について調査し、研究発表大会で報告して、その後の数学授業の改善に有益な情報を提供しています。

## ○会報発行

年に2回、本会の活動の様子を会員のみなさまにお伝えしています。

## 3 数学教育を通して生徒を育てる

昭和63年度研究発表大会研究発表収録の話に戻れば、冒頭の会長挨拶のこのような記述がありました。  
「変化の中にたくましく生きていかなければならぬ生徒は、これから生涯を見通す中で、中学校の数学を通して、今何をどのように身に付けていかなければならないのか、そのためには私たちはどうしなければいけないのかが問われている」

時代が変わっても、生徒をどのように育てるか、そのためには数学教師として何をするか、を考えることは変わらないということでしょう。東京都の中学校の数学教育の向上とそれを支える人材を育てていく研究組織であり続けたいと思います。みなさまのお力添えをよろしくお願い致します。

## 目次

会長挨拶	1
講演会要旨(5月14日)	2
各委員会の活動計画	3~4
数学指導技術向上研修会の案内	5
地区だより(足立区・国分寺市)	6
全国算数・数学教育研究(島根)大会	7
関東甲信静数学教育研究(山梨)大会	7
総会報告	8

## 中学校数学科において 数学的な見方・考え方を働きかせて活用し探求する数学の指導

### 1 演題と講演のねらい

中学校数学科の目標の柱書に記されている「数学的な見方・考え方を働きかせ、数学的活動を通して」は、算数・数学の学習指導の基本的な考え方を示している。『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編』(文部科学省、2018)では、「数学的な見方・考え方」を働きかせた学習活動は、「数学や他教科の学習」と「日常や社会において問題を論理的に解決していく場面」などで広く生かされるとしている。そして、「見方・考え方」を、習得・活用・探究という学びの過程で働きかせることを通じて、より質の高い学びにつなげることが重要である」(p.163)と記されている。「数学的な考え方」が算数科・数学科の目標となり得ることについて、菊池(1969)は、「義務教育は市民として必要な資質を身につけることを、本来の目的としている」(p.16)として、「新しい場面に遭遇したときの心構え」「課題解決の基本的な態度」「論理的な考え方」を数学的な考え方としている。

講演では、「数学的な見方・考え方」を働きかせた学習活動が広く生かされる「数学や他教科の学習」「日常や社会において問題を論理的に解決していく場面」と、「新しい場面に遭遇したときの心構え」「課題解決の基本的な態度」「論理的な考え方」という数学的な考え方を位置づけ、教材例や実践事例を紹介した。

### 2 各領域の教材例・実践事例

#### ①「数と式」領域

検定済教科書に掲載されている一次方程式の利用の節末問題を取り上げ、数学的活動の一層の重視を志向し、実在するうどん屋の価格設定をもとにアレンジした問題を紹介した。この教材には、学習活動「数学や他教科の学習」と数学的な考え方「課題解決の基本的な態度」が位置づく。

#### ②「図形」領域

三角形の合同条件は三角形の決定条件をもとに確認していく。そこで、三角形の「1辺とその一端の角及びその角の対辺が分かっている場合」(清水、1979)に、三角形の構成要素の位置関係と辺・角の大小関係を探究していくと、直角三角形の合同条件へつながることを紹介した。

また、基本的な作図に潜む图形としてたこ形を取り上げ、「四角形の階層構造」(Jones & Bush, 1996)におけるたこ形の位置を確認し、たこ形を組み入れた四角形の包摂関係(永野、2011)を紹介した。これらの教材に

は、学習活動「数学や他教科の学習」と数学的な考え方「論理的な考え方」が位置づく。

#### ③「関数」領域

「うさぎとかめ」のかけくらべの様子をグラフに描き、ウサギとカメが登場する物語を創作する中で、創作物語からグラフを予想する場面とグラフから創作物語を予想する場面を取り入れた、実践事例を紹介した(小島・松寄、2014)。この実践には、学習活動「日常や社会において問題を論理的に解決していく場面」と数学的な考え方「新しい場面に遭遇したときの心構え」が位置づく。

#### ④「データの活用」領域

学習指導要領改訂に向けた提言の1つ「箱ひげ図に係るグラフ表現を複数学年に位置付ける」(日本数学教育学会「資料の活用」検討WG、2014)を紹介し、小学校算数科で取扱うドットプロットと柱状グラフ、中学校数学科で取扱うヒストグラム、箱ひげ図について、令和4年度全国学力・学習状況調査(中学校数学)の複問「コマ回し」を取り上げ、ヒストグラムと箱ひげ図の関係を紹介した。

#### 引用・参考文献

日本数学教育学会「資料の活用」検討WG 松寄昭雄・金本良通・大根田裕・青山和裕他 5名(2014)「新教育課程編成に向けた系統的な統計指導の提言－義務教育段階から高等学校第1学年までを対象として－」『日本数学教育学会誌』第96巻第1/2号、pp.2-12.

Jones, D. & Bush, W. S. (1996). Mathematical structures: Answering the "Why" questions. The Mathematics Teacher, 89(9), 716-722.

菊池兵一(1969)『数学的な考え方を伸ばす指導』北辰図書

小島知浩・松寄昭雄(2014)「中学校の数学授業における予想に関する一考察－事象の変化と数学的表現のつながりに着目して－」『2014年度数学教育学会春季年会発表論文集』pp.48-50

文部科学省(2018)『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編』日本文教出版

永野俊雄(2011)「たこ形とその必要十分条件の四の場合への拡張について」『日本数学教育学会誌』第93巻第5号、pp.23-31.

清水静海(1979)「三角形の合同条件とその指導について」『イプシロン』第21巻、pp.22-33

## 第104回 全国算数・数学教育研究(島根)大会

1. 研究主題 「数学的に考える資質・能力を育成するための学びの実現」

2. 日 程 令和4年8月2日(火)～8月5日(金)

3. 会 場 オンライン(Zoom)開催

4. 概 要

8月2日(火)

○講習会(中学校)

お茶の水女子大学附属中学校 藤原 大樹先生  
元北海道教育大学 相馬 一彦先生  
筑波大学 小松 孝太郎先生

8月3日(水)

○講習会(中学校)

静岡大学 舟元 新一郎先生  
広島大学 真野 祐輔先生  
千葉大学 辻山 洋介先生

8月4日(木)

○開会式

○全体講演

独立行政法人教職員支援機構上席フェロー  
元OECD教育スキル局政策アナリスト

百合田 真樹人先生

○シンポジウム

○部会講演

8月5日(金)

○分科会Ⅰ、Ⅱ

○閉会式

5. 申し込み

全国大会Webサイト

<https://www.sme.or.jp/conference/national/>

7月25日(月)24時締切

## 第77回 関東甲信静数学教育研究(山梨)大会

#### ○大会主題

「数学的に考える力を育成する授業の創造  
～自立的・協働的な学びをとおして～」

○日程 令和4年10月28日(金)

○会場 ベルクラシック甲府

○記念講演 9:00～10:10

東京学芸大学名誉教授 藤井 齊亮先生

○公開授業・授業研究会・分科会 11:20～16:20

中学校部会会場 甲府市立北中学校

大会Webサイト

<https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/77-kantosme/>

## 令和4年度 東京都中学校数学教育研究会 役員

会長 福沢 俊之(台東区立御徒町台東中学校)

副会長 奥秋 直人 ……庶務部長

(荒川区立第七中学校)

〃 榎本 圭志 ……研究部長

(国分寺市立第一中学校)

〃 佐藤 太 ……調査部長

(港区立御成門中学校)

〃 杉田 正穂 ……広報部長

(練馬区立大泉学園中学校)

〃 草開 宣晶 ……会計部長

(世田谷区立用賀中学校)

監事 山根 浩孝 (練馬区立豊溪中学校)

竹山 正弘 (武蔵野市立第三中学校)

庶務 柳沢 忠男 ……庶務事務局長

(板橋区立高島第一中学校)

〃 塚本 桂子 ……庶務副部長

(新宿区立西早稲田中学校)

上村 諭 (中野区立第七中学校)

蓮沼 喜春 (小金井市立緑中学校)

〃 諏佐 佳典 (大田区立羽田中学校)

菅原 亮 (稻城市立稻城第一中学校)

研究 山本 周一 ……研究副部長

(府中市立浅間中学校)

〃 西野 和之 (江東区立亀戸中学校)

山岸 聰志 (練馬区立田柄中学校)

〃 井上 隆 (北区立稻付中学校)

杉田 善明 (葛飾区立高砂中学校)

〃 堀 孝浩 ……委員会担当兼務

(中野区立緑野中学校)

調査 南 英昭 ……調査部副部長

(文京区立第十中学校)

〃 植木 清 (江戸川区立葛西第二中学校)

高林 敏彦 (世田谷区立深沢中学校)

〃 澤川 英知 (東久留米市立下里中学校)

広報 村田 浩文 ……広報副部長

(板橋区立赤塚第一中学校)

〃 高山 琢磨 (大田区立志茂田中学校)

藤本 謙一郎 (練馬区立大泉学園中学校)

〃 堀 孝浩 ……HP担当(再掲)

青海 正 ……会計副部長

(大田区立志茂田中学校)

〃 吉田 裕行 (世田谷区立三宿中学校)

西川 慶介 (世田谷区立砧南中学校)

参与 秋野 宏之 (国分寺市立第二中学校)

小島 宏一郎 (大田区立糀谷中学校)

## 地区だより

### <足立区>

足立区教育研究会数学部会  
(足立区立千寿青葉中学校 山本 恵悟)

#### 1 研究主題

「主体的に学習に取り組む態度の育成」

#### 2 活動内容と経過

(1)教材理解と指導法の工夫(研究授業・講演会)

##### ①研究授業

令和3年10月13日(水)

1年「文字と式」

授業者 谷中中学校 古庄 恵美 主任教諭

講師 山梨大学教授 清水 宏幸 先生

単元計画の最後の授業として、「数あてゲーム」を題材に行った。原題を元に生徒自身が問題を作り、お互いに問題を解き合い、問題比較を行った。また、評価についての提案を行った。

##### ②講演会

令和4年1月26日

演題「主体的に学習に取り組む態度の育成」

講師 東京学芸大学教授 西村 圭一 先生

「主体的に学ぶとは」をテーマに、主体的に学ぶ授業をつくる考え方や視点についての講演を行った。

(2)ICTの活用の研修(研究授業)

##### ③研究授業

令和3年11月29日(月)

2年「平行と合同」

授業者 六月中学校 岩崎 壮亮 教諭

講師 愛知教育大学教授 飯島 康之 先生

作図ツールGCで作成されたコンテンツを利用した。タブレットで1点を動かしても成り立つ性質を見つけ、そのことが正しいかを解決する授業を行った。

(3)都立入試の調査・分析

都立高等学校入学者選抜(第1次・前期)を受験した区内の生徒の中から960名を抽出し、正答率調査と誤答分析を行った。

(4)小学校との連携(研究授業)

新型コロナウイルスの対応により、小中合同での研究授業は実施しなかった。「主体的に学ぶ生徒と教員育成の課題への挑戦」

### <国分寺市>

国分寺市教育研究会数学部会  
(国分寺市立第五中学校 小俣 壮平)

#### 1 研究主題

「ICT機器を取り入れた授業実践」

#### 2 主題設定の理由

昨年度まで「数学的活動の楽しさや数学のよさを実感できる授業」をテーマとして研究を進めてきた。そして、令和3年度より生徒一人1台タブレット端末が導入された。そうしたICT機器を、今まで研究してきた授業にどのように取り入れ、活用していくかが課題であると考え、本研究主題を設定した。

#### 3 研究の経過および内容

4月:研究主題、活動計画の設定

6月:各校でのICT機器を取り入れた授業実践例について協議・検討

10月:研究授業 単元名「データの比較」

(於 国分寺市立第一中学校)

※新型コロナウイルスの対応により、事前に授業を録画し、動画視聴での研究授業参観をした。

講義 「数学科における一人1台端末の活用、評価について」

講師 多摩教育事務所指導課

教育専門員 松本 信之 先生

1月:研究の成果、課題のまとめ

#### 4 まとめと今後の課題

・研究授業では、事前にMicrosoft Formsで行った全校生徒のアンケート結果を、タブレット端末を使用してデータ整理、考察を行った。その作業を通して、膨大なデータの処理にICT機器を用いることの有用性を生徒が感じることができた。また、生徒自身を調査対象としたことで、興味・関心をもって取り組む様子がみられた。一方、データ処理に予想以上に時間がかかった。

・ICT機器の使用頻度を増やし、操作に慣れるよう、教科だけに留めず、他教科と連携してICT機器を活用していく横断的な学習を取り入れていくことも今後の課題と考えられる。

今後は、ICT機器を取り入れた授業実践について引き続き研究していくとともに、それを評価はどうつなげていくのかということも併せて研究ていきたい。

## 令和4年度 各委員会の活動計画

### 数式委員会

「主体的に学習に取り組む態度に関する指導と評価の一体化」

コロナ禍3年目を迎えるこのテーマも3年目、満足に委員会の開催が出来ない中、今年度も引き続き同じテーマで研究をしていきます。

委員の各学校では、毎時間の授業終わりに書かせる「振り返りシート」や定期テスト終わりの「振り返りシート」を工夫し、単元終わりに「レポート」を作成させそれを発表し評価に活かすなど、主体的な学習意欲につながるよう研究を進めています。また、『主体的・対話的で深い学び』について研究をし、授業力向上に活かしています。

委員会は、基本的に月に1度、第一回は6月に行います。今年度はリモートで開催出来る日を多くもちたいと考えています。

研究テーマの内容や数式領域だけに拘らず、日々の授業に使える教材の提案や新学習指導要領や新しい評価に関する情報交換なども、積極的に行っています。

(文責 神津島村立神津中学校 伊藤 晴美)

### 教育課程委員会

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導

本委員会では、毎月1回の定例会を基本に活動しています。単元や領域にこだわらず、生徒が躊躇していることや、教師が授業を行う上で困っていることなどを取り上げ、研究を行っています。

現在、主体的・対話的で深い学びを追究した授業づくりをテーマに、星形五角形などの角の和を求める問題を取り上げています。操作的な活動を通して、生徒自らが課題を見出し、既習事項を用いて粘り強く考えることで深い学びに繋がるものと考えています。そして操作を通して、新たな関係を発見したり、角の和が求められなくても、それが何故求められないのかを根拠を明確にしながら説明させたりすることで、習熟度に応じた授業展開を考えられ、どの生徒でも深い学びに繋げることができます。

都中数のホームページに、毎月行っている定例会の開催案内を掲載しています。一緒に学びたいという方は、是非ご一報ください。多くの先生方のご参加をお待ちしています。

(文責 大田区立羽田中学校 諸佐 佳典)

### 確率統計委員会

一人1台の端末を使用し、

様々な方法でデータを分析する授業

私たちはこれまで、主に確率統計分野における教材を考え、実践してきました。昨年度は、短冊上の紙を自分の間隔だけで10cmに近くなるように切らせる授業を通して、単純に代表値のみでデータを分析するだけではなく、一人1台の端末を効果的に使用し、相対度数や目標との誤差に着目させる等、様々な見方でデータを分析する授業を考え、実践しました。

今年度は、昨年度の研究・発表を受けて、再度授業検討を行い、研究を進めています。確率統計委員会のメンバーは、若手・中堅・ベテランと年齢層が厚く、また所属地域も区部・市部・島しょ・中等教育学校と多岐にわたります。中には、小学校での勤務を経験した方もいらっしゃいます。それぞれの学校事情を共有しながら、多くの学校で実践できる授業や教材について考えています。委員会はオンラインでも実施いたしますので、興味をもられた方がいましたら、いつでも連絡してください。

(文責 中野区立中野東中学校 橋本 麻衣子)

### 図形委員会

説明する力を育成するための図形指導のあり方

図形委員会では、これまで図形領域における学習指導案の検討や授業研究、生徒の実態調査等の分析を取り組んできました。昨年度は委員会で検討した調査問題で生徒に実態調査を行い、分析をしました。傾向として、長さや面積などを求める問いは比較的理 解しているものの、図形の性質や定義など、知識として知っていることでも、その意味を説明することについては課題があることがわかりました。

今年度は、調査結果を踏まえ、説明する力の育成に向けた中1「平面図形」の学習活動について、学習指導案の作成に取り組んでいます。委員全員でアイディアを持ち寄り、意見を出し合ながら、よりよい指導案を作成し、授業実践できるよう努めています。

図形指導をはじめ、数学教育への興味や関心をお持ちの皆様にぜひご参加いただき、委員会の活動を活発にしていただけたら幸いです。

(文責 中野区立緑野中学校 堀 孝浩)

## 評価委員会

学習指導要領における評価の在り方について(5)～「主体的に学習に取り組む態度」の観点についての具体的な実践例～

学習指導要領における評価の観点が新しくなり、昨年1年間実際に授業を行いました。そこで感じたことは、特に「主体的に学習に取り組む態度」の観点について引き続き研究を深めていきたいと感じました。実践事例を多くの数学科の先生方に提案していくように、今年度も昨年度とは異なる単元に焦点を当てて、各時間でどの観点に重きを置くか、どの時間で評定のための評価を実施するか、およびその方法についての単元計画を研究したいと思います。

評価材料の集め方や評価基準表(ループリック)の作成等を通して、実際に生徒のワークシート等における反応の具体例を示しながらどのような評価をしていくかについて考えていきます。

都中数のホームページに開催の案内を出していますので、少しでも興味をもたれた先生がいましたらご覧ください。一緒に学んでいきましょう。

(文責 江戸川区立小松川第一中学校 湯浅 浩)

## 導入法委員会

論証指導における実践例

本委員会では、さまざまな単元や領域において、日頃の授業に役立つ教材づくりを目指し、実践を中心とした研究を進めている。

今年度は、論証指導における題材や発問の工夫について、授業実践をしながら研究していく。論証指導については、学習指導要領に「必要以上に証明の書き方にこだわることをせず、第3学年までを見通し、次第に簡潔・明瞭なものとなるように段階的に指導していくよう配慮する」とあるが、しばしば証明の書き方の指導に偏りがちである。証明の方針をたてること、結論から逆向きに考えること、帰納的に導かれたものと演繹的に導かれたものの違いを考えること等に重点を置いた論証指導における指導案を作成し、授業実践後、改訂指導案を作成していく。

また、新学習指導要領本格実施に伴う第Ⅲ観点を中心とした評価の在り方について、昨年度に引き続き各校の情報交換をしながら議論していく。

(文責 世田谷区立上祖師谷中学校 石川 寛樹)

## 関数委員会

「第2学年 変化の割合の概念・意味の理解」

昨年度は、中3「関数の導入」についてICTを活用した授業改善を行うことをねらいとした研究を行いました。「速さ」に関する実態調査の実施やその調査の結果を基に、ICTを生徒が自ら操作していろいろな変数や関数関係を見いだす指導案を作成しました。

本年度は、中2「変化の割合の素地的な学習」について、ICT機器の可能性を探りつつ観察し、関数とみなして考えることを主眼に置いた指導案の作成や、研究授業を踏まえた改訂指導案を作成しています。また、今年度、研究授業を行う予定です。

これまでの研究をもとに、ICTを利用する視点で関数の指導計画をよりよいものに改善し実証的に研究を進めています。都中数のHPにも研究成果を掲載しているので、ぜひ御覧ください。

(文責 江戸川区立清新第一中学校 菅田 圭一)

## 指導法委員会

「レポート課題の指導と評価」

～指導と評価の一体化を目指して～

昨年度は、レポート課題の指導について考え、「生徒全員が取り組めるもの」、「自分なりのレポートを作成できるもの」として、以下の2つの実践を行った。

事例1 問題解決型学習における授業内レポート「お客様に合った携帯電話の料金プランを考え、提案しよう」(思考・判断・表現の評価・一次関数)

事例2 問題づくりと授業内発表「数当てゲームを作ろう」(主体的に学習に取り組む態度の評価・文字と式)

これらの実践を通して、評価の視点を定めて評価することによって、評価しやすくなり、ねらいや評価に合わせた指導の工夫をすることができた。また、評価の視点を作成するコツをつかむことができた。

今年度も、レポートの課題としてふさわしいものについて検討し、指導と評価の視点を作成する、実践を重ねることにより、評価の視点の作成のコツを明確にして、どのような課題でも作成しやすくなるようにしていく。さらに、3領域や新3観点のバランスを考えて、全学年において評価計画を立てることを目指していく。

(文責 足立区立谷中中学校 古庄 恵実)

## 令和4年度 数学指導技術向上研修会を開催します

数学指導技術向上研修会は今年で20回を迎えます。本研修会は、各学校の教育活動の充実に資するため、数学科教員の指導技術、専門性の向上を目指し実施しています。特に令和元年度からは東京都教職員研修センター(以下、研修センター)との連携研修となり、都立高校・都立特別支援学校からの参加者も含め、若手教員だけでなく中堅教員の参加も増えています。

昨年は、緊急事態宣言の延長で、受講者を集めた対面式の研修会が開催できませんでした。代替として、講師による講義を一定期間動画配信し、その後、受講者からデータで提出された学習指導案に対し助言者が助言を入力し、研修センターを通して受講者へフィードバックいたしました。本来計画していた研修とは異なる形での研修でしたが、研修センターによる受講者アンケートでは高評価が得られました。

今年度も以下の要領で研修会を実施いたします。  
※研修センターを通じた募集のみです。最終締め切りは7月19日午後2時までです。コロナウイルス感染予防徹底のため募集人数が少なくなっています。受講希望者は研修センターの研修申込時に申し込みください。

**1 研修名** 数学科指導スキルアップ講座(中学校)  
－数学科 授業づくりの基礎・基本－  
[研修番号 4241]

**2 対象** 東京都公立中学校及び特別支援学校の若手から中堅の数学担当教員

**3 主催** 東京都中学校数学教育研究会  
東京都教職員研修センター

**4 実施日時** 令和4年8月19日(金)  
13:30～17:00

**5 会場** 北区立王子桜中学校

**6 募集人数** 50名

**7 実施形態** ゼミ形式で数人を1グループとして、各グループに講師がつきます。

**8 内容** ・受講者は本人の課題に基づいた学習指導案を事前に作成する。  
・受講者を少人数のグループに分け、

各グループで学習指導案を検討・協議する。

・各グループで講師から指導・助言を受ける。

**9 講師** 東京都中学校数学教育研究会のOB・現役役員・各委員会委員等

## 都中数の委員会には誰でも加入できます

都中数では研究部の中に8つの委員会があり、数学指導に生かせる実践的な内容を計画的に研究しています。

詳しくお知りになりたい方は、次の各委員会の代表者までお気軽にご連絡ください。

○数式委員会

伊藤 晴美先生  
(神津島村立神津中学校 04992-8-0585)

○図形委員会

堀 孝浩先生  
(中野区立緑野中学校 03-3386-5423)

○教育課程委員会

諫佐 佳典先生  
(大田区立羽田中学校 03-3744-3351)

○確率統計委員会

橋本 麻衣子先生  
(中野区立中野東中学校 03-3362-5236)

○評価委員会

湯浅 浩先生  
(江戸川区立小松川第一中学校 03-3681-3403)

○導入法委員会

石川 寛樹先生  
(世田谷区立上祖師谷中学校 03-3308-9683)

○関数委員会

菅田 圭一先生  
(江戸川区立清新第一中学校 03-3878-1281)

○指導法委員会

古庄 恵美先生  
(足立区立谷中中学校 03-3620-6662)

また、委員会のこと全般についてお聞きになりたい方は、研究部委員会担当役員 中野区立緑野中学校副校長 堀 孝浩(03-3386-5423)までご連絡ください。